

1 調査名称：（さいたま市）道路網計画改定業務

2 調査主体：さいたま市

3 調査圏域：東京都市圏

4 調査期間：令和4年度～令和5年度（令和4年度分）

5 調査概要：

本市の都市計画道路は、高度経済成長期に、人口や経済の急速な集中を前提として計画され、整備されてきたが、少子高齢化の進行、将来的な人口減少の見通し、財政の逼迫、開発計画の停滞など、道路の計画が前提としていた状況に大きな変化の兆しが見られたことを背景に、将来の道路網をどう考えるべきかを検討し、平成24年度に道路網計画を策定、都市計画道路の見直しを順次進めてきた。

一方、道路網計画を策定してから10年近く経過しようとしているが、道路網計画の検討時には想定できなかったトピック（東日本大震災が発災したことによる防災まちづくりの推進、自動運転技術の進歩、広域道路網計画（2.5環状道路等）の進展、市街地整備2.0や歩行者利便増進道路の取組の推進、さらにはコロナ禍による新たな日常の到来やウォークアブルなまちづくりの機運の醸成等）が数多く巻き起こってきている状況にある。

これらの様々なトピックが、本市の道路にどう影響を及ぼすのかを検証し、従前の道路網計画では扱えていない内容を加味した、「新たな道路網計画」の検討が求められている。

そのため、近年の様々なトピックに対応した道路網の在り方や、道路の使い方に関する方針を、市民ニーズも踏まえたうえで再検討し、道路網計画の見直しを図ることを目的とした。

I 調査概要

1 調査名称

(さいたま市) 道路網計画改定業務

2 報告書目次

序章 はじめに

1. 評価に関する前提条件の整理
2. 道路網構築の検討
3. 将来交通量配分の実施
4. 路線類型化の検討
5. 地区交通プラン検討の手引きの作成
6. 道路網計画改定案の作成
7. 市民参加の実施支援・意見整理
8. 委員会の運営支援

3 調査体制

次世代道路網あり方委員会 (座長：埼玉大学教授 久保田 尚)

4 委員会名簿等：

(令和４年度第４回次世代道路網あり方委員会まで)

	分 野	氏 名	所 属 団 体	備 考
1	学識経験者	くぼ た ひさし 久保田 尚	埼玉大学大学院 理工学研究科 教授	会長
2		みうら し の 三浦 詩乃	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 特任助教	
3		もりもと あきのり 森本 章倫	早稲田大学 理工学術院 教授	職務代理者
4	関係行政機関	こん さ わ こ 今 佐和子	国土交通省 関東地方整備局 建政部 都市整備課長	
5		ふくしま かおる 福島 薫	国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所 計画課長	
6	市職員	ほんだ たつお 本多 建雄	さいたま市 都市局 都市計画部長	
7		や な せ じゅん 柳瀬 純	さいたま市 都市局 まちづくり推進部長	
8		にしおか こういち 西岡 康一	さいたま市 都市局 都心整備部長	
9		こじま ふみろう 小島 文郎	さいたま市 建設局 土木部長	
10		ふじまき ゆうこう 藤巻 雄幸	さいたま市 建設局 北部建設事務所長	
11		つづき ひでゆき 都築 英幸	さいたま市 建設局 南部建設事務所長	

(令和5年度第1回次世代道路網あり方委員会)

	分 野	氏 名	所 属 団 体	備 考
1	学識経験者	くぼた ひさし 久保田 尚	埼玉大学大学院 理工学研究科 教授	会長
2		みうら しの 三浦 詩乃	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 客員連携研究員 一般社団法人ストリートライフ・メイカーズ 代表理事	
3		もりもと あきのり 森本 章倫	早稲田大学 理工学術院 教授	職務代理者
4	関係行政機関	せきざわ たかふみ 関澤 貴史	国土交通省 関東地方整備局 建政部 都市整備課長	
5		ふくしま おおる 福島 薫	国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所 計画課長	
6	市職員	ほんだ たつお 本多 建雄	さいたま市 都市局 都市計画部長	
7		ふるいち まきのり 古市 正典	さいたま市 都市局 まちづくり推進部長	
8		なかじま えいいち 中島 栄一	さいたま市 都市局 都心整備部長	
9		たかはし よしひさ 高橋 良久	さいたま市 建設局 土木部長	
10		ふじまさき ゆうこう 藤巻 雄幸	さいたま市 建設局 北部建設事務所長	
11		つづき ひでゆき 都築 英幸	さいたま市 建設局 南部建設事務所長	

Ⅱ 調査成果

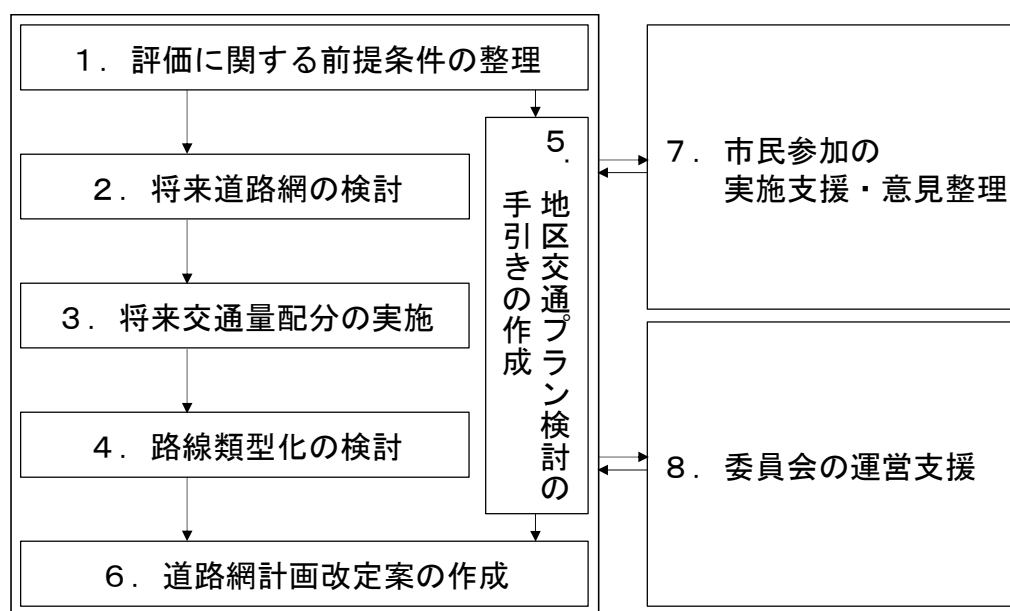
１ 調査目的

本市の都市計画道路は、高度経済成長期に、人口や経済の急速な集中を前提として計画、整備されてきたが、道路網計画を策定してから 10 年近く経過しようとしているなかで、道路網計画の検討時には想定できなかったトピック（防災まちづくりの推進、自動運転技術の進歩、広域道路網計画の進展、歩行者利便増進道路の推進、さらにはコロナ禍による新たな日常の到来やウォーカブルなまちづくりの機運の醸成等）が数多く巻き起こっている。

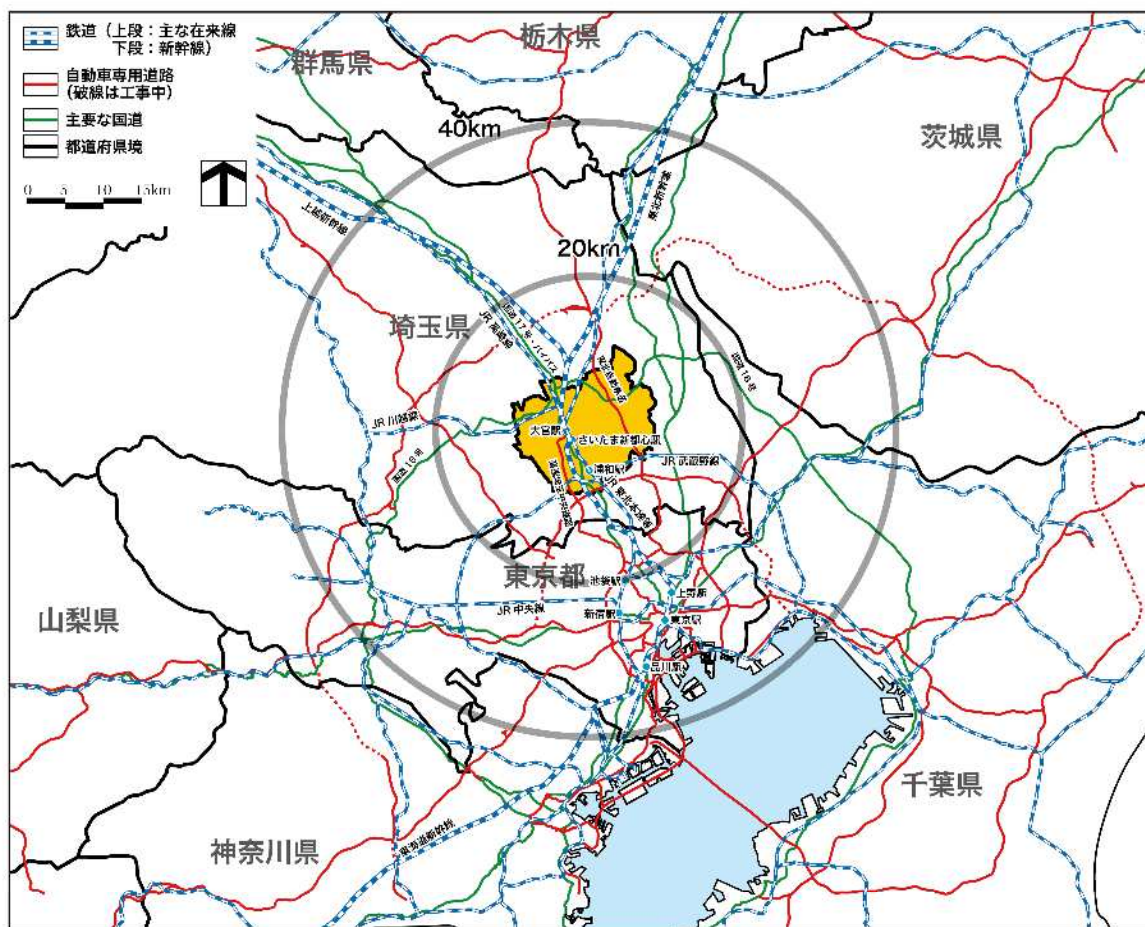
これらの様々なトピックが、本市の道路にどう影響を及ぼすのかを検証し、従前の道路網計画では扱うことができていない内容を加味した、「新たな道路網計画」の検討が求められており、様々なトピックに対応した道路網のあり方や、道路の使い方に関する方針を、市民ニーズも踏まえたうえで再検討し、道路網計画の見直しを図ることを目的とし、令和 3 年度より検討に着手した。

本業務は、令和 3 年度業務で検討した道路網構築のための視点案に基づき、個別路線の評価を行い、道路ネットワークを検討するとともに、未整備都市計画道路の類型化や地区交通プランの進め方の整理を行い、昨年度の成果も併せて、道路網計画の改定案としてとりまとめることを目的とする。

２ 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

1. 評価に関する前提条件の整理

道路網の評価を行うにあたって、必要となる前提条件となる道路網検討に関連する計画（都市マス、交通戦略、歩行者・自転車等の自動車以外の計画、産業振興、その他大規模プロジェクト等）の情報を収集し、整理を行った。

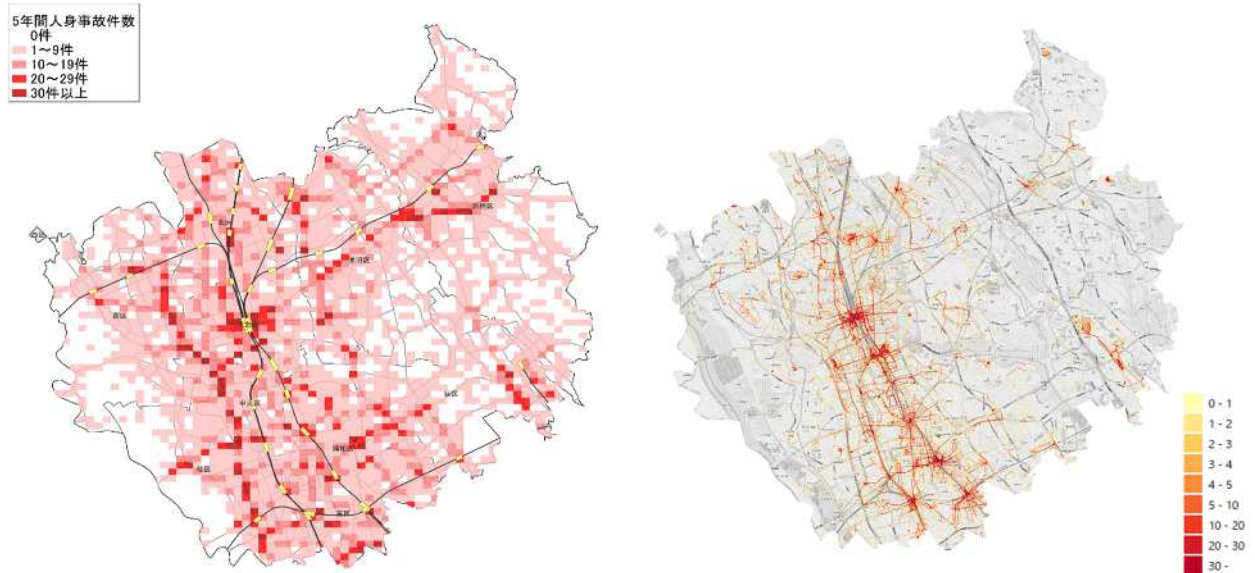


図 5年間（H29～R3）の事故発生箇所

図 歩行者 GPS ヒートマップ（全日）

2. 将来道路網の検討

令和3年度業務で検討した道路網構築の視点に基づき、市内の評価対象路線を対象として、路線の評価を行い、将来道路網を検討した。

あわせて、幅員の妥当性、車線数の確認及び見直しを行った。

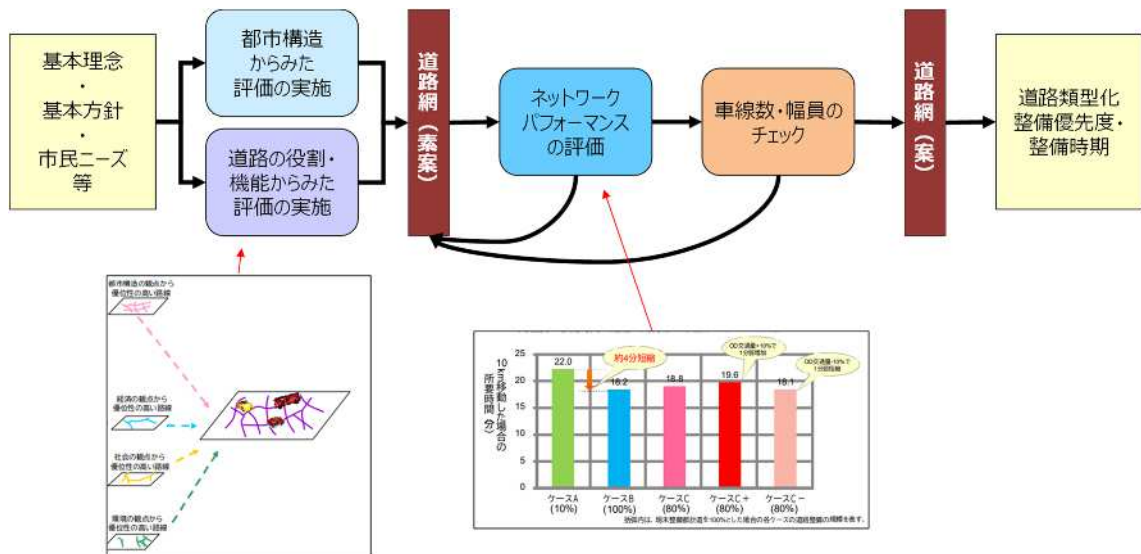


図 検討の流れ

3. 将来交通量配分の実施

これまでの検討結果を踏まえ、道路に関わる将来シナリオ（将来交通量のケース）を複数設定し、作成した OD 表およびネットワーク等を用いて将来交通量配分を行った

図 将来交通量配分のケース設定

	道路ネットワーク	OD表
将来ケース1	現況ネットワーク	将来OD表
将来ケース2	フルネットワーク (都市計画道路全線整備)	将来OD表
将来ケース3 【趨勢】	目指すべきネットワーク (廃止候補路線は廃止した状態)	将来OD表

	道路ネットワーク	OD表
将来ケース3 【趨勢】	目指すべきネットワーク (廃止候補路線は廃止した状態)	将来OD表
将来ケース3-1 【ネット拡大】	目指すべきネットワーク (廃止候補路線は廃止した状態)	将来OD表① (ネットサービスの拡大シナリオ)
将来ケース3-2 【リモートワーク】	目指すべきネットワーク (廃止候補路線は廃止した状態)	将来OD表② (リモートワークの拡大シナリオ)
将来ケース3-3 【自動車多様化】	目指すべきネットワーク (廃止候補路線は廃止した状態)	将来OD表③ (自動車の使い方の多様化シナリオ)



図 交通量図

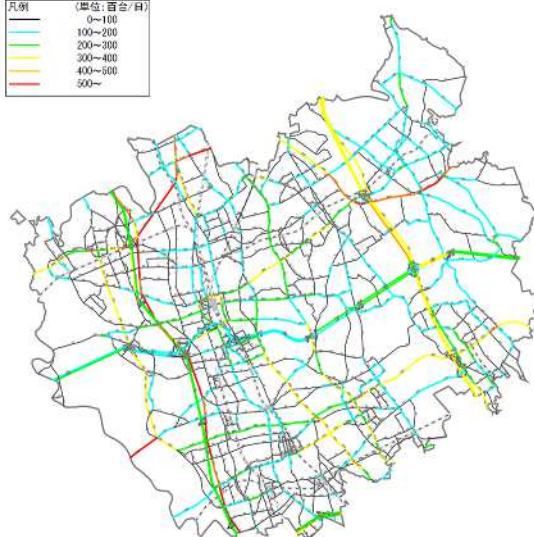
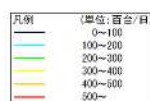
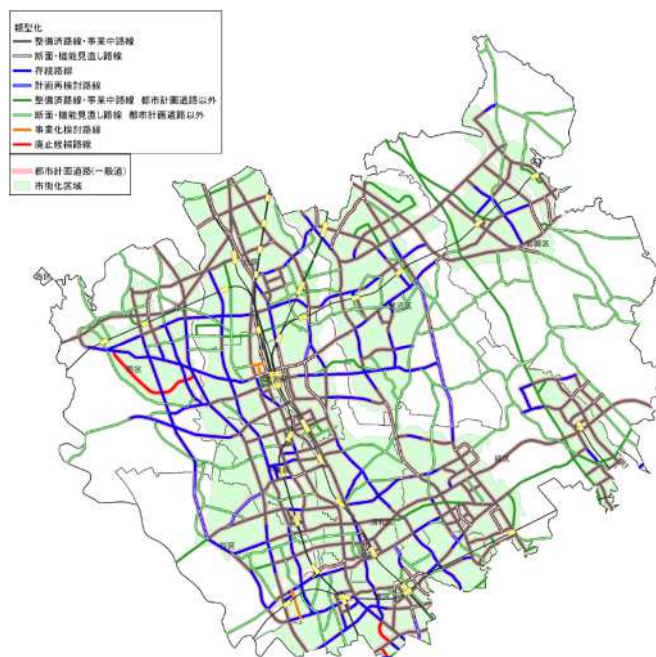
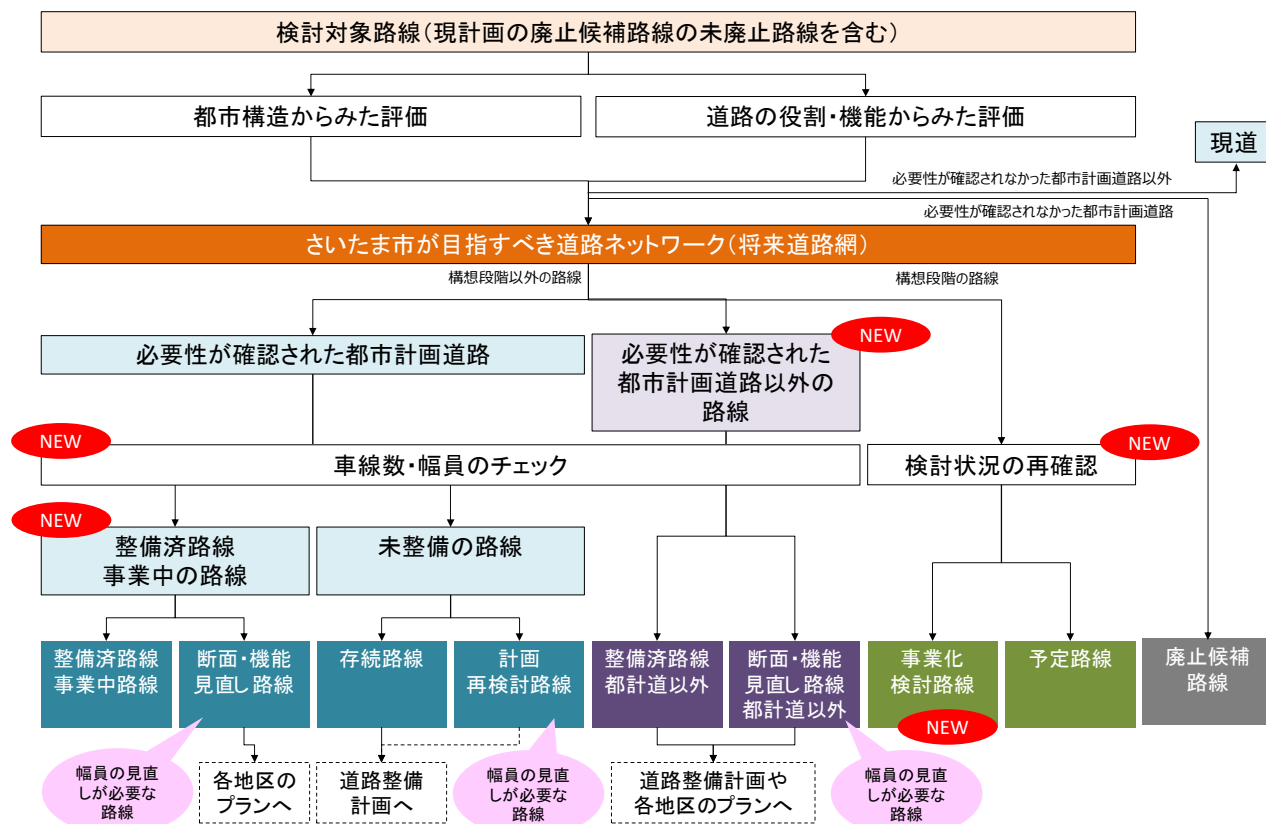


図 混雑度図

4. 路線類型化の検討

第2章において位置づけた未整備の都市計画道路および、整備済みの都市計画道路、都市計画道路以外の市道などについても類型化を行った。



5. 地区交通プラン検討の手引きの作成

道路網計画において、庁内で検討する地区交通プラン策定の補助となり、道路空間の活用を推進する手引きを作成した。なお、手引きには、プランの概要、検討フローや検討内容・手法、関係者との協議手法等を掲載することを想定した。

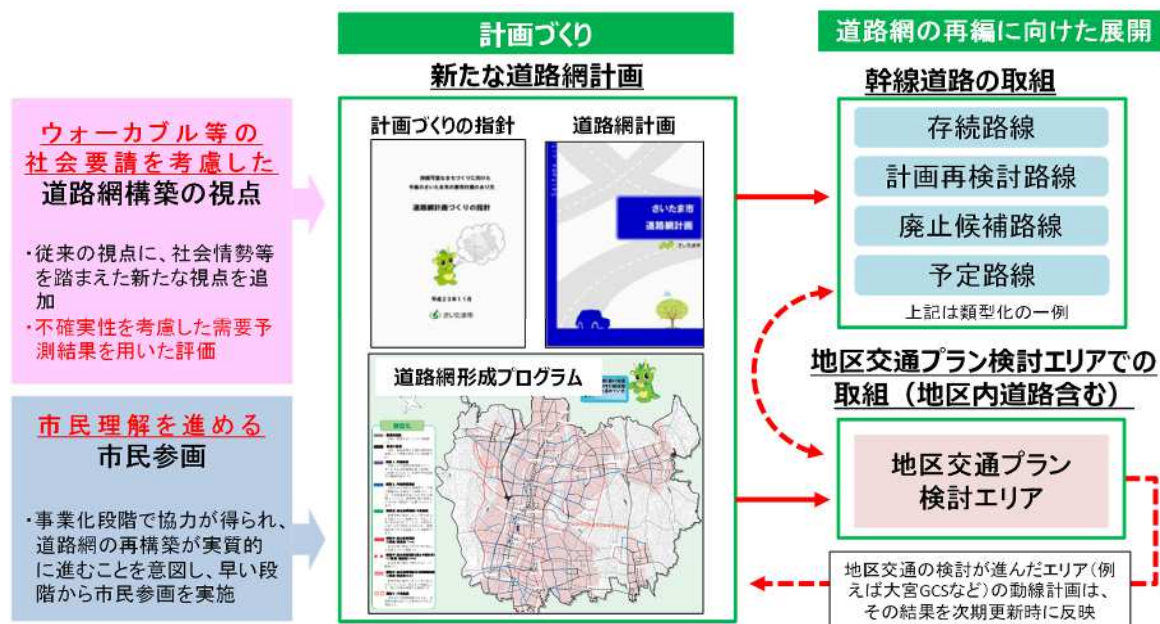


図 地区交通プラン検討エリアと道路網計画との関係

地区交通プラン推進エリア

すでに、地区交通プランが存在しているが、ウォーカブルの観点から、現プランの更なる推進や、新しい視点を投入込んだ地区交通プランを検討するエリア

地区交通プラン優先検討エリア

すでに、駅周辺での地域プランや開発計画等が存在し、その検討に合わせて、地区交通プランを検討するエリア

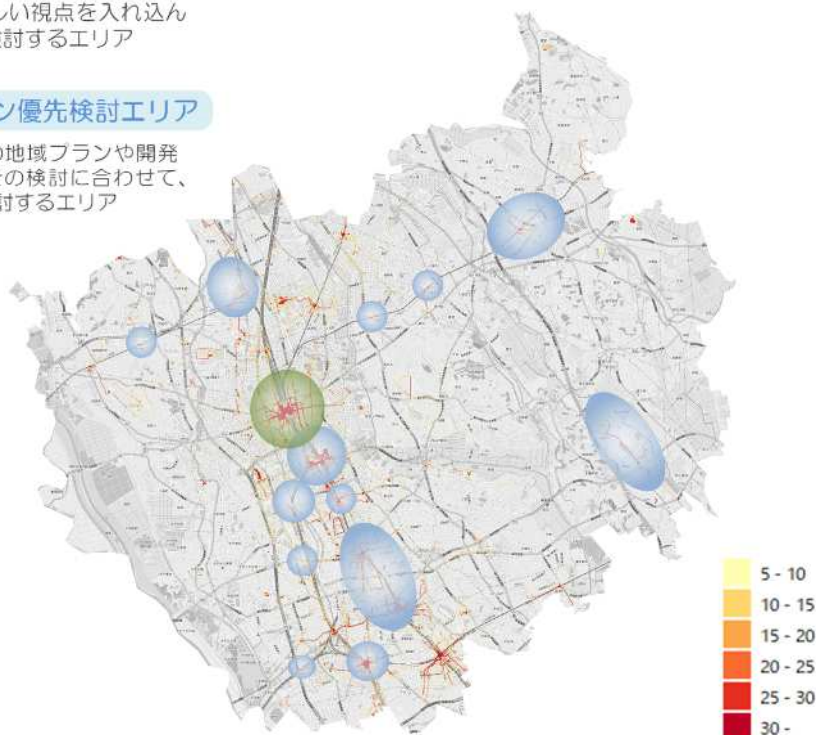


図 地区交通プラン検討エリア

1. 本手引きの基本的な考え方
 - 1.1 背景～“新しい道路”ビジョンに向けた不確実性の時代下での計画推進～
 - 1.2 本手引きの趣旨
 - 1.3 本手引きの位置付け
 - 1.4 地区交通プランで検討すべき要素
 - 1.4.1 交通の要素ごとの検討
 - 1.4.2 新たな交通サービス・施設、道路の使い方の考慮
 - 1.4.3 地元関係者との協議、ビジョンの共有
 - 1.4.4 他地区の地区交通プランや道路網計画等との調整
 2. 地区交通プランの検討内容
 - 2.1 全体構成
 - 2.2 各項目の検討の内容
 - 2.2.1 前提条件
 - 2.2.2 現状分析
 - 2.2.3 地区交通の目標・方針
 - 2.2.4 地区の交通体系の将来像・実現化方策
 - 2.3 協議・調整
 - 2.4 計画の着実な推進
- 参考資料
 ＜参考＞交通ネットワークを構築するにあたっての取組事例ーさいたま市内における賑わい空間創出の取組ー
 ＜参考＞文献集

図 地区交通プラン検討の手引き

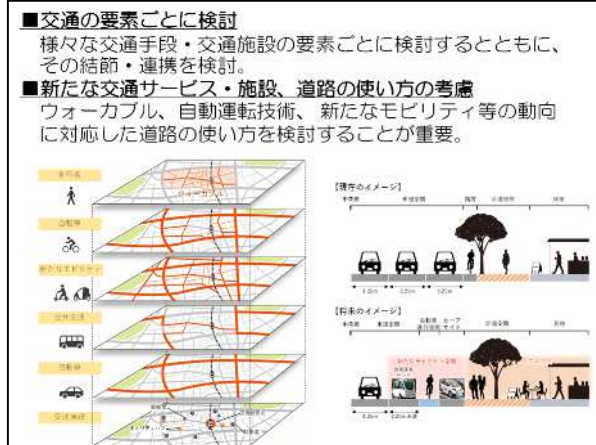


図 地区交通プランの基本的な考え方

6. 道路網計画改定案の作成

ここまでの検討結果を、道路網計画の改定案としてとりまとめ、概要版の作成もあわせて行った。改定案は、市民が手に取りやすく、誰もがわかりやすい表現等にするため、デザイン性を持たせたものとした。

また、検討過程の透明性を確保するために、計画書とは別に、技術検討、市民参加に関する別冊レポートを作成した。

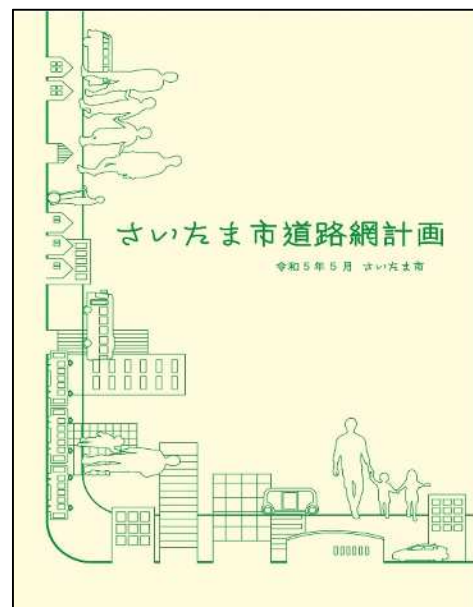


図 道路網計画表紙



図 道路網計画概要版

7. 市民参加の実施支援・意見整理

道路網計画を改定するにあたってパブリックコメントを実施（１回）するため、必要資料の作成等を行った。

また、パブリックコメント等で得た市民意見のとりまとめ、対応の整理と道路網計画への意見反映を実施した。



図 オープンハウスの状況



図 パネル

8. 委員会の運営支援

道路網計画を検討することをねらいとした次世代道路網あり方委員会における資料作成、委員会の運営補助、委員会とは別に、庁内の会議体の資料作成、運営補助を行った。

次世代道路網あり方委員会は４回開催、庁内会議は８回の開催し、運営補助を行った。

実施回	会議体	日程
令和４年度 第２回	プランニングワーキンググループ	2022 年 8 月 23 日
	次世代道路網庁内検討会	2022 年 8 月 25 日
	次世代道路網あり方委員会	2022 年 9 月 2 日
令和４年度 第３回	プランニングワーキンググループ	2022 年 11 月 15 日
	次世代道路網庁内検討会	2022 年 11 月 21 日
	次世代道路網あり方委員会	2022 年 11 月 28 日
令和４年度 第４回	プランニングワーキンググループ	2023 年 3 月 14 日
	次世代道路網庁内検討会	2023 年 3 月 20 日
	次世代道路網あり方委員会	2023 年 3 月 28 日
令和５年度 第１回	プランニングワーキンググループ	2023 年 6 月 30 日
	次世代道路網庁内検討会	2023 年 7 月 3 日
	次世代道路網あり方委員会	2023 年 7 月 7 日

図 委員会の運営支援